

501P0997 USOU N. 81  
#2



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月21日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-250373

出 願 人

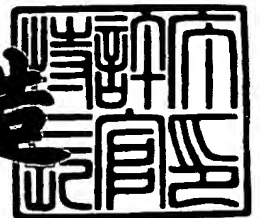
Applicant(s):

ソニー株式会社

2001年 4月20日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3033387

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000326101

【提出日】 平成12年 8月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04B 7/00

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号      ソニー株式会  
社内

    【氏名】 泉 忍

【特許出願人】

    【識別番号】 000002185

    【氏名又は名称】 ソニー株式会社

    【代表者】 出井 伸之

【代理人】

    【識別番号】 100067736

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 小池 晃

【選任した代理人】

    【識別番号】 100086335

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 田村 榮一

【選任した代理人】

    【識別番号】 100096677

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 伊賀 誠司

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 019530

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707387

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 無線伝送装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報信号を送信する送信部と、当該送信部により送信された情報信号を受信する受信部とを備える無線伝送装置において、

上記送信部と上記受信部とは、接離自在に用いられるとともに、

上記送信部は、

情報信号を高周波信号に変調する送信機と、

上記送信機により変調された高周波信号を出力して無線伝送する送信アンテナと、

上記情報信号を出力して上記受信部に有線伝送する出力端子とを備え、

上記受信部は、

上記送信部の送信アンテナから出力された高周波信号を受信する受信アンテナと、

上記受信アンテナにより受信した高周波信号を情報信号に復調する受信機と、

上記送信部の出力端子から出力された情報信号が入力される入力端子とを備え

上記送信部と上記受信部とのうち少なくとも一方には、

上記送信部と上記受信部との接離状態を検出する検出手段と、

上記検出手段の検出結果に応じて、情報信号を無線伝送するか有線伝送するかを選択する選択手段とを備えること

を特徴とする無線伝送装置。

【請求項 2】 上記送信部の出力端子は、上記送信機により変調された高周波信号を出力するとともに、

上記受信部の入力端子は、上記送信部の出力端子から出力された高周波信号が入力されること

を特徴とする請求項 1 記載の無線伝送装置。

【請求項 3】 上記送信部は、情報記録媒体に対して画像情報及び／又は音声情報の記録及び／又は再生を行う記録再生手段を備え、これら画像情報及び／又

は音声情報を情報信号として上記受信部に伝送するとともに、

上記受信部は、受信した情報信号に含まれる画像情報及び／又は音声情報を再生する再生手段を備えること

を特徴とする請求項 1 記載の無線伝送装置。

【請求項 4】 上記送信部は、送信局から送信された画像情報及び／又は音声情報を受信する受信手段を備え、この受信手段により受信した画像情報及び／又は音声情報を情報信号として上記受信部に伝送するとともに、

上記受信部は、受信した情報信号に含まれる画像情報及び／又は音声情報を再生する再生手段を備えること

を特徴とする請求項 1 記載の無線伝送装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報信号を送信する送信部と、送信部により送信された情報信号を受信する受信部とを備える無線伝送装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来の無線伝送装置は、送信部と受信部とを一体に用いることが想定されておらず、図 3 に構成例を示すような、無線 A V 送信機 1 0 2 と無線 A V 受信機 1 1 0 とが別々に構成されている。この無線 A V 送信機 1 0 2 は、家庭用 V C R (video cassette recorder) 1 0 1 で再生されたオーディオ・ビデオ信号（以下では A V 信号と呼ぶ。）を、この家庭用 V C R 1 0 1 から離れた場所にある家庭用テレビ 1 1 6 に出力する目的で構成されている。以下、図 1 0 を参照しながら、従来例について説明する。

【 0 0 0 3 】

まず、家庭用 V C R 1 0 1 は、情報記録媒体に記録された情報を再生し無線 A V 送信機 1 0 2 内の A V 信号処理部 1 0 3 へ A V 信号として出力する。

【 0 0 0 4 】

A V 信号処理部 1 0 3 は、バッファアンプと、フィルター等とで構成されてお

り、家庭用 V C R 1 0 1 から出力された A V 信号を変調に最適な振幅値に変換する。また、A V 信号処理部 1 0 3 は、変換した A V 信号を変調部 1 0 4 へ出力する。

【 0 0 0 5 】

変調部 1 0 4 は、A V 信号処理部 1 0 3 から入力された A V 信号を、特定の周波数を生成することができる周波数シンセサイザ 1 0 5 から入力された I F (intermediate frequency) 周波数の搬送波と合成し、I F 信号として周波数変換部 1 0 6 へ出力する。

【 0 0 0 6 】

周波数変換部 1 0 6 は、変調部 1 0 4 から入力された I F 信号と、周波数シンセサイザ 1 0 5 から入力された局部発信周波数とを混合し、高周波信号すなわち R F (radio frequency) 信号として電力増幅器 1 0 7 へ出力する。

【 0 0 0 7 】

電力増幅器 1 0 7 は、周波数変換部 1 0 6 から入力された R F 信号を、規定の電力に増幅し、送信アンテナ 1 0 8 へ出力する。

【 0 0 0 8 】

送信アンテナ 1 0 8 は、電力増幅器 1 0 7 から入力された R F 信号を電波として空間へ放射する。

【 0 0 0 9 】

次に、無線 A V 受信機 1 1 0 に接続された受信アンテナ 1 0 9 は、送信アンテナ 1 0 8 から出力された電波を R F 信号として低雑音増幅器 1 1 1 へ出力する。

【 0 0 1 0 】

低雑音増幅器 1 1 1 は、受信アンテナ 1 0 9 から入力された R F 信号を増幅し、周波数変換部 1 1 2 へ出力する。

【 0 0 1 1 】

周波数変換部 1 1 2 は、周波数シンセサイザ部 1 1 3 から入力された局部発信周波数を混合し、I F 信号として復調部 1 1 4 へ出力する。

【 0 0 1 2 】

復調部 1 1 4 は、周波数シンセサイザ 1 1 3 から入力された I F 周波数の搬送

波を用い復調し、A V 信号として A V 信号処理部 115 へ出力する。

【0013】

A V 信号処理部 115 は、復調部 114 から入力された A V 信号から、雑音を除去し信号を増幅させて、家庭用テレビジョン 116 へ出力する。

【0014】

家庭用テレビジョン 116 は、A V 信号処理部 115 から、入力された A V 信号を、画像及び／又は音声を再生する。

【0015】

従来の無線伝送装置は、以上のような構成によって、家庭用 V C R 101 にて出力された A V 信号を R F 信号とし、無線伝送により R F 信号を伝送し、家庭用テレビジョン 116 にて画像及び／又は音声を再生する。

【0016】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上述したような従来の無線伝送装置においては、以下のような問題点があった。

【0017】

無線伝送装置の近傍において、例えば、電子レンジ等の電気製品による高周波すなわち妨害電波が発生する場合等で、この妨害電波のレベルが送信アンテナと受信アンテナとを接近させても画像及び／又は音声がかかる程大きいような場合がある。

【0018】

このような場合において、良好な画像及び／又は音声を得るためには、上記家庭用 V C R 101 の近くに家庭用テレビジョン 116 を移動させ、又は家庭用テレビジョン 116 を家庭用 V C R 101 の近くに移動させ、無線 A V 送信機 102 と無線 A V 受信機 110 とを取り外し、直接 A V ケーブル等にて接続し、画像情報及び／又は音声情報の信号である情報信号を送受信しなければならなかった。

【0019】

そこで、本発明は、上述した従来の問題を解決して、無線伝送による伝送状態

が良好でない場合であっても、有線伝送によって簡単且つ確実に良好な伝送状態を確保することができる無線伝送装置を提供することを目的とする。

#### 【0020】

##### 【課題を解決するための手段】

本発明は、上述した課題を解決するために、情報信号を送信する送信部と、この送信部により送信された情報信号を受信する受信部とを備える無線伝送装置において、送信部と受信部とは、接離自在に用いられることを特徴とする。そして、送信部は、情報信号を高周波信号に変調する送信機と、送信機により変調された高周波信号を出力して無線伝送する送信アンテナと、情報信号を出力して受信部に有線伝送する出力端子とを備える。また、受信部は、送信部の送信アンテナから出力された高周波信号を受信する受信アンテナと、受信アンテナにより受信した高周波信号を情報信号に復調する受信機と、送信部の出力端子から出力された情報信号が入力される入力端子とを備える。そして、送信部と受信部とのうち少なくとも一方には、送信部と受信部との接離状態を検出する検出手段と、この検出手段の検出結果に応じて、情報信号を無線伝送するか有線伝送するかを選択する選択手段とを備えることを特徴とする。

#### 【0021】

以上のように構成された本発明に係る無線伝送装置は、送信部と受信部との情報信号の送受信を無線伝送により行い、電波状態が良好でない場合に情報信号の送受信を有線伝送により行うことができる。

#### 【0022】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る無線伝送装置の一構成例として、VCRから出力されたAV信号をLCD (liquid crystal display) にて再生する場合に適用して、図面を参照しながら詳細に説明する。

#### 【0023】

本発明に係る無線伝送装置は、図1に構成例を示すように、画像情報及び／又は音声情報の信号である情報信号を送信することが可能とされた送信部1と、情報信号を受信することが可能とされた受信部2とにより構成される。



【0024】

また、この無線伝送装置は、送信部1と受信部2とを所定の位置で接離できるようになっており、送信部1と受信部2とを一体として用いることができる。

【0025】

上記送信部1は、情報信号をAV信号として出力する機器、例えば、VCR3を備えており、このVCR3は、AV信号を出力する。そして、送信部1は、AV信号を高周波信号すなわちRF信号に変換し、受信部2へ無線伝送又は有線伝送することができる。

【0026】

上記VCR3は、情報記録媒体であるビデオカセットテープに情報信号を記録し、再生することが可能とされており、再生した情報信号をAV信号として出力する。

【0027】

また、送信部1は、VCR3から入力されたAV信号をRF信号に変換して出力する無線AV送信機4と、選択手段であるアンテナスイッチ5と、送信部1と受信部2との接離状態を検出する検出手段であるセンサ6と、無線伝送でRF信号を出力する場合に用いる送信アンテナ7と、有線伝送でRF信号を出力する場合に受信部2と接続される出力端子8とを備えている。

【0028】

上記無線AV送信機4は、VCR3と、アンテナスイッチ5とに接続されており、VCR3から入力されたAV信号をRF信号に変換し、アンテナスイッチ5へ出力する。なお、無線AV送信機4については、従来の技術で例示した無線AV送信機102と略同等であるために内部の構成及び動作についての説明は省略する。

【0029】

上記センサ6は、アンテナスイッチ5と接続されており、例えば、送信部1の上部の所定の位置に受信部2が設置されることにより、送信部1と受信部2との接離状態を検出し、アンテナスイッチ5へ接離情報を送る。

【0030】

アンテナスイッチ 5 は、送信用アンテナ 7 と、出力端子 8 とに接続されており、センサ 6 から接離情報を受け取る。この接離情報をもとにアンテナスイッチ 5 は、出力を無線伝送又は有線伝送とする切り替えを行う。また、アンテナスイッチ 5 は、センサ 6 から送信部 1 と受信部 2 とが接続されていないとする接離情報を受け取った場合に、入力された R F 信号を無線伝送にて出力するために送信アンテナ 7 側へ回路を切り替える。そして、無線 A V 送信機 4 から送られてきた R F 信号を送信アンテナ 7 へ出力し、送信アンテナ 7 から電波として空間に放出する。

## 【 0 0 3 1 】

一方、アンテナスイッチ 5 は、センサ 6 より送信部 1 と受信部 2 とが接続されているとする接離情報を受け取った場合に、入力された R F 信号を有線伝送にて出力するために出力端子 8 側へ回路を切り替える。そして、無線 A V 送信機 4 から送られてきた R F 信号を出力端子 8 へ出力し、出力端子 8 から受信部 2 へ R F 信号を伝達する。

## 【 0 0 3 2 】

送信アンテナ 7 は、例えば、送信部 1 の外部に設けられており、アンテナスイッチ 5 を介して入力された R F 信号を電波として空間へ出力する。

## 【 0 0 3 3 】

また、送信部 1 は、例えば、送信部 1 全体を駆動させるための電源（図示せず。）と接続されており、この電源には一般的な交流 1 0 0 V の電源等が用いられる。

## 【 0 0 3 4 】

受信部 2 は、送信部 1 と受信部 2 と接続されていることを検出する検出手段であるセンサ 9 と、選択手段であるアンテナスイッチ 1 0 と、送信アンテナ 7 から無線伝送された R F 信号を受信する受信アンテナ 1 1 と、出力端子 8 と接続され有線伝送を可能とする入力端子 1 2 と、送信部 1 と受信部 2 とが接続されていることを検出する検出手段であるセンサ 9 とを備えている。

## 【 0 0 3 5 】

センサ 9 は、アンテナスイッチ 1 0 に接続されており、センサ 6 と同様に、送

信部 1 の上部の所定の位置に受信部 2 が設置されることにより、送信部 1 と受信部 2 との接離状態を検出し、アンテナスイッチ 1 0 へ接離情報を送る。

【 0 0 3 6 】

アンテナスイッチ 1 0 は、受信アンテナ 1 1 と、入力端子 1 2 とに接続されており、センサ 9 の接離情報により回路を受信アンテナ 1 1 又は入力端子 1 2 に切り替える。

【 0 0 3 7 】

送信部 1 と受信部 2 とが接続されていない場合において、アンテナスイッチ 1 0 は、センサ 9 からの接離情報により回路を受信アンテナ 1 1 に切り替え、送信アンテナ 7 により無線伝送された R F 信号を受信する。

【 0 0 3 8 】

一方、送信部 1 と受信部 2 とが接続されている場合において、アンテナスイッチ 1 0 は、センサ 9 からの接離情報により回路を入力端子 1 2 に切り替え、出力端子 8 により有線伝送された R F 信号を受け取る。

【 0 0 3 9 】

ここで、送信部 1 と受信部 2 とが接続された場合に、出力端子 8 及び入力端子 1 2 は、例えば、バネ等により押圧され接続されるようになっていても良いし、センサ 6, 9 から送られる接離情報と呼応して、端子が突出し接続されるとしても良い。後者の場合には、センサ 6 及びセンサ 9 と出力端子 8 及び入力端子 1 2 とがそれぞれ接続されており、出力端子 8 及び入力端子 1 2 には、端子を突出させる突出手段が必要となる。

【 0 0 4 0 】

また、受信部 2 は、R F 信号を A V 信号に変換する無線 A V 受信機 1 3 を備えている。この無線 A V 受信機 1 3 は、アンテナスイッチ 1 0 と接続されており、このアンテナスイッチ 1 0 は、受信アンテナ 1 1 又は入力端子 1 2 から入力された R F 信号を無線 A V 受信機 1 3 へ送る。なお、無線 A V 受信機 1 3 は、従来の技術で例示した受信機 1 1 0 と略同等であるために内部の構成動作についての説明は省略する。

【 0 0 4 1 】

さらに、受信部 2 は、例えば、画像情報を再生することができる L C D 表示部 1 4 と、音声情報を再生することができるスピーカ 1 5 とを備えている。

【 0 0 4 2 】

無線 A V 受信機 1 3 は、 L C D 表示部 1 4 とスピーカ 1 5 に接続されており、アンテナスイッチ 1 0 から入力された R F 信号を A V 信号に変換して、 L C D 表示部 1 4 及びスピーカ 1 5 へ出力する。なお、 L C D 表示部 1 4 へ出力する信号は、 A V 信号のうちで、画像信号であるアナログコンポジット信号であり、スピーカ 1 5 へ出力する信号は、音声信号であるオーディオ信号である。

【 0 0 4 3 】

以上のように、受信部 2 は、上記 L C D 表示部 1 4 及びスピーカ 1 5 により、 V C R 3 にて再生された情報信号を受信部 2 にて再生する。

【 0 0 4 4 】

さらに、受信部 2 は、内部に電源（図示せず。）を持ち、この電源は、例えば、充電可能とされた 2 次電池である。この 2 次電池は、送信部 1 と受信部 2 とが接続されている際に、送信部 1 から電力の供給を受け、充電されることを可能とされている。

【 0 0 4 5 】

ここで、受信部 2 は、送信部 1 と受信部 2 とが接続されていることをセンサ 9 が検出すると、受信部 2 内の電源を使用せずに受信部 2 の L C D などの各種機器の電源供給を送信部 1 から受けて稼働させる。なお、受信部 2 においても、外部の交流 1 0 0 V の電源と接続できるとしても良い。

【 0 0 4 6 】

ここで、上述した検出手段であるセンサ 6， 9 による送信部 1 と受信部 2 との接離状態に応じて、無線伝送と有線伝送とを切り替える機構の具体的な一構成例について、図 2 を参照して詳細に説明する。

【 0 0 4 7 】

送信部 1 内のセンサ 6 は、例えば、電気回路により構成され、電流の導通により送信部 1 と受信部 2 との接離情報を検出する。センサ 6 は、 4 つの端子からなりそれぞれ端子 C 1， D 1， E 1， F 1 となる。

## 【0048】

受信部2内のセンサ9は、送信部1内のセンサ6と同様に、送信部1と受信部2との接離状態を検出する。センサ9は、4つの端子からなりそれぞれ端子C2, D2, E2, F2となる。

## 【0049】

送信部1の上部の所定の位置に受信部2が設置されると、上記端子C1とC2, D1とD2, E1とE2, F1とF2とがそれぞれに接続され、センサ6, 9の電気回路内に印加される電圧に変化が生じる。センサ6, 9は、この電流及び電圧の変化を接離情報として、アンテナスイッチ5, 10へ送る。これの接離情報により、アンテナスイッチ5, 10は、入出力を無線伝送又は有線伝送とする切り替えを行う。

## 【0050】

ここで、センサ6, 9の電気回路内に印加される電圧について、まず送信部1と受信部2とが接続されていない場合について説明する。

## 【0051】

送信部1内の点P1には、電圧 $V_{cc1}$ が印加されており、受信部2内の点P2には、電圧 $V_{cc2}$ が印加されている。

## 【0052】

送信部1側の端子C1, D1, E1, F1は、受信部2側の端子C2, D2, E2, F2とそれぞれ接続されておらず、点P1に印加された電圧 $V_{cc1}$ は抵抗 $R1$ に印加され、アンテナスイッチ5のA1に、 $V_{cc1}$ から $R1$ により降下した電圧を差し引いた電圧が印加され、点P2に印加された電圧 $V_{cc2}$ は抵抗 $R3$ に印加され、アンテナスイッチ10のA2に、 $V_{cc2}$ から抵抗 $R3$ により降下した電圧を差し引いた電圧が印加される。

## 【0053】

つまり、センサ6, 9が、送信部1と受信部2とが接続されていることを検出しなかった場合は、アンテナスイッチ5, 10のA1, A2にそれぞれの電圧が印加される。この電圧が接離情報となり、アンテナスイッチ5及びアンテナスイッチ10は、送信アンテナ7及び送信アンテナ11に回路を切り替えるようにし

ている。

【0054】

次に、送信部1と受信部2とが接続されている場合について説明する。

【0055】

この場合、送信部1側の端子C1, D1, E1, F1は、受信部2側の端子C2, D2, E2, F2とそれぞれ接続されることになり、点P1に印加された電圧Vcc1は、接続された端子E1, E2を介して、受信部2内のアンテナスイッチ10のB2に印加され、点P2に印加された電圧Vcc2は、接続された端子C1, C2を介して、送信部1内のアンテナスイッチ5のB1に印加される。

【0056】

つまり、センサ6, 9が、送信部1と受信部2とが接続されていることを検出した場合は、アンテナスイッチ5, 10のB1, B2にVcc2の電圧が印加される。この電圧が接離情報となり、アンテナスイッチ5及びアンテナスイッチ10を出力端子8及び入力端子12に切り替えるようにしている。

【0057】

ここで、出力端子8は、端子H1及びG1により構成され、入力端子12は、端子H2及びG2により構成される。

【0058】

送信部1と受信部2とが接続されることにより、センサ6, 9が接続を検出し、アンテナスイッチ5, 10が出力端子8, 入力端子12に切り替えられる。そして、RF信号は、端子H1, H2を介して伝達される。このとき端子G1及びG2は、アースされており、端子H1及びH2を介して伝達されるRF信号をシールドし、送信部1及び受信部2内のアースをつなぐ役目も果たしている。

【0059】

以上のような流れにより、本発明に係る無線伝送装置は、VCR3から出力されたAV信号を、RF信号に変換し、受信部2へ無線伝送又は有線伝送する切り替えを行い、受信部2にて情報信号をLCD表示部14とスピーカ15を用いて出力することができる。

【0060】

これにより、送信部 1 と受信部 2 とを離れた場所で用いることができ、妨害電波等の要因により、送信部 1 から受信部 2 へ無線伝送された情報信号が適切に再生できないような場合には、送信部 1 の上部の所定に位置に受信部 2 を設置するだけで、直ちに有線伝送に切り替わり、情報信号を適切に再生することができようになる。

【 0 0 6 1 】

また、上述したように有線伝送により伝送する際にも R F 信号を用いるために、信号を伝送する配線が一本で済み、A V 信号を出力する場合と比較して少ない配線で有線伝送することができる。なお、R F 信号を送受信する配線としては、同軸ケーブルを用いても良い。

【 0 0 6 2 】

なお、本発明に係る無線伝送装置は、V C R 3 の他に、送信局より送信された画像情報及び／又は音声情報を受信するチューナ（図示せず。）であっても良い。チューナを用いる場合において、無線伝送及び有線伝送の流れについては、上述した V C R 3 の場合と略同等のために説明は省略する。

【 0 0 6 3 】

ここで、上記送信部 1 に接続される A V 信号を出力する機器は、V C R 3 又はチューナに限定されるものではなく、他の A V 信号を出力する機能を持つ機器であっても良いし、これらの機器は送信部 1 の外部に接続されるものとしても良い。

【 0 0 6 4 】

なお、本発明に係る無線伝送装置は、手動でアンテナスイッチ 5，10 を切り替えるとしても良い。この場合には、手動で切り替える機構を、送信部 1 及び／又は受信部 2 に設ける必要がある。

【 0 0 6 5 】

なお、有線伝送する場合に、R F 信号ではなく A V 信号を送受信するとしても良い。この場合には、アンテナスイッチ 5，10 が不要となり、センサ 6 は無線 A V 送信機 4 と接続され無線 A V 送信機 4 に接離情報を送り、センサ 9 は無線 A V 受信機 13 と接続され無線 A V 受信機 13 に接離情報を送り、R F 信号に変換

せずに A V 信号を直接送受信する。この際に、無線 A V 送信機 4 と無線 A V 受信機 1 3 との間に、出力端子 8 及び入力端子 1 2 と比べ端子数が多い接続端子とこれらをつなぐ配線とを用意し、A V 信号を送受信する。

【0 0 6 6】

上述した、有線伝送を A V 信号で行う場合は、R F 信号により有線伝送する場合よりも接続端子を多く備える必要があるが、アンテナスイッチ 5, 1 0 等を必要とせず、構成が簡略化できる。

【0 0 6 7】

【発明の効果】

無線伝送を行っているときに、何らかの妨害電波を受けた場合等で送信アンテナと受信アンテナとを接近させても情報信号が乱れる場合において、送信部の上部の所定の位置に受信部を設置することにより、検出手段が自動的に接離状態を検出し、外部の送信アンテナ及び受信アンテナによる無線接続から入力端子及び出力端子を介する有線接続に切り替えることができる。

【0 0 6 8】

これにより、有線接続のための面倒な配線のつなぎ変えを行うことなく、直ちに、且つ自動的に良好な伝送状態を確保することができ、良好な情報信号の伝送をすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を適用した無線伝送装置の一例の構成を示すブロック図である。

【図 2】

本発明を適用した無線伝送装置の一例を示す概略図である。

【図 3】

従来の無線伝送装置を示すブロック図である。

【符号の説明】

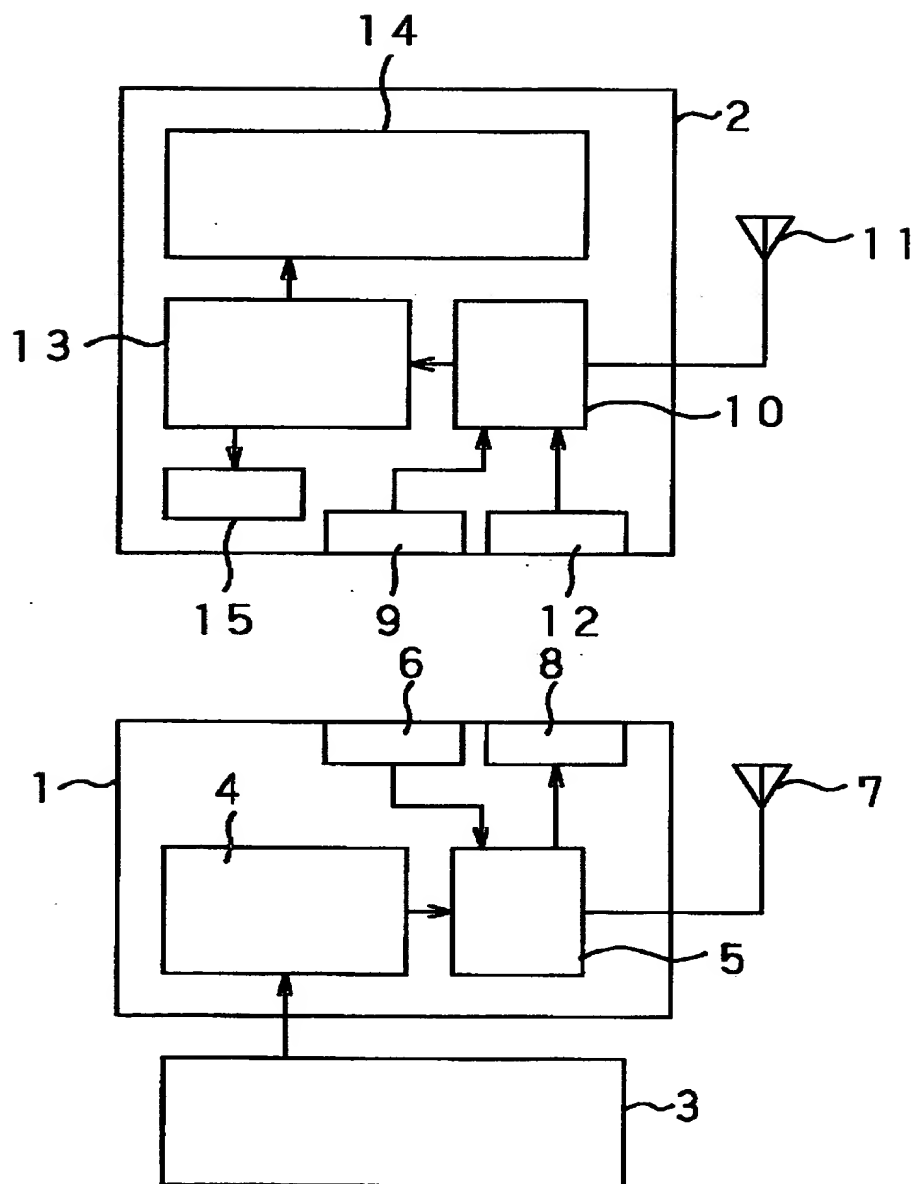
1 送信部、2 受信部、3 V C R、4 無線 A V 送信機、5 アンテナスイッチ、6 センサ、7 送信アンテナ、8 出力端子、9 センサ、1 0 アンテナスイッチ、1 1 受信アンテナ、1 2 入力端子、1 3 無線 A V 受信機



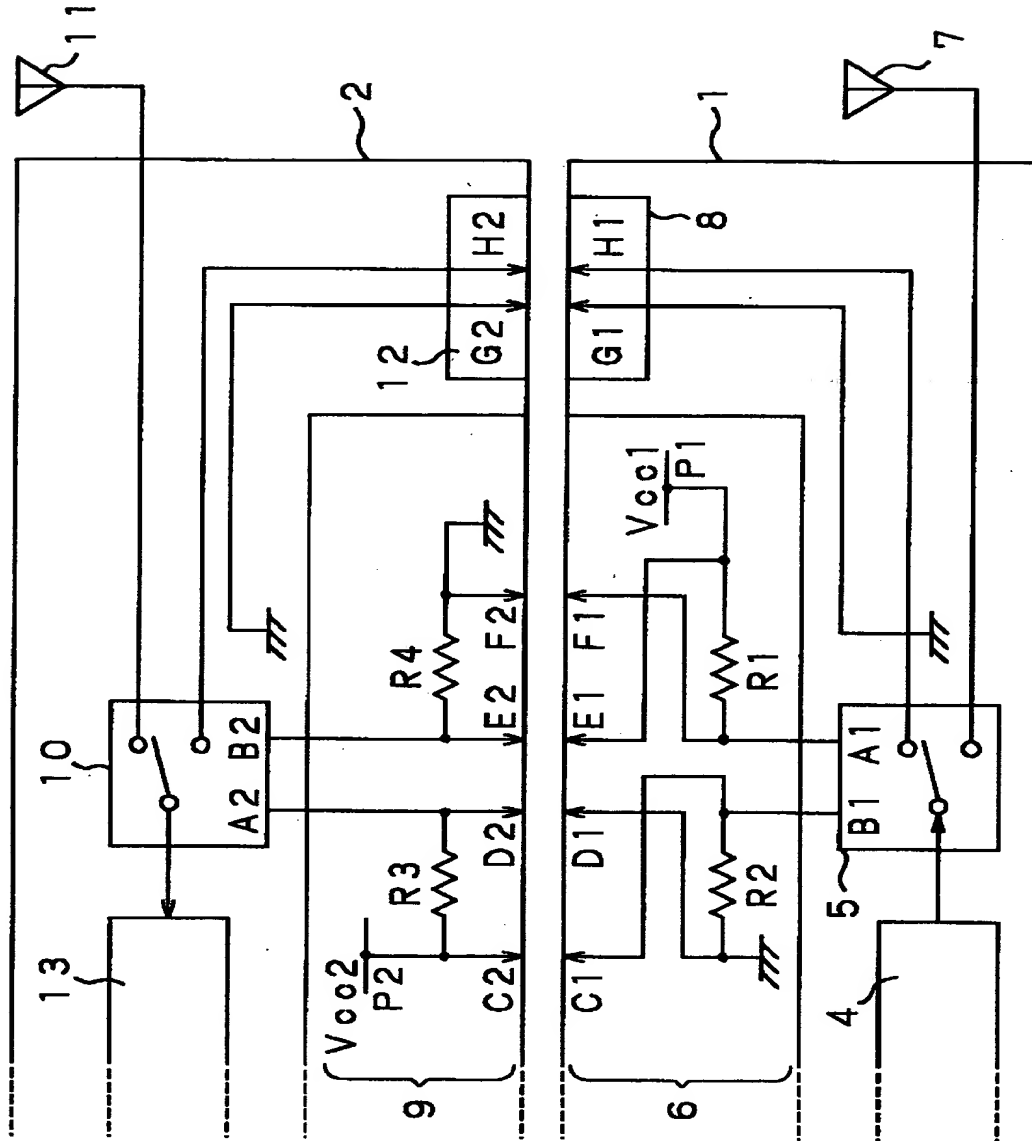
、 1 4 L C D 表示部、 1 5 スピーカ

【書類名】 図面

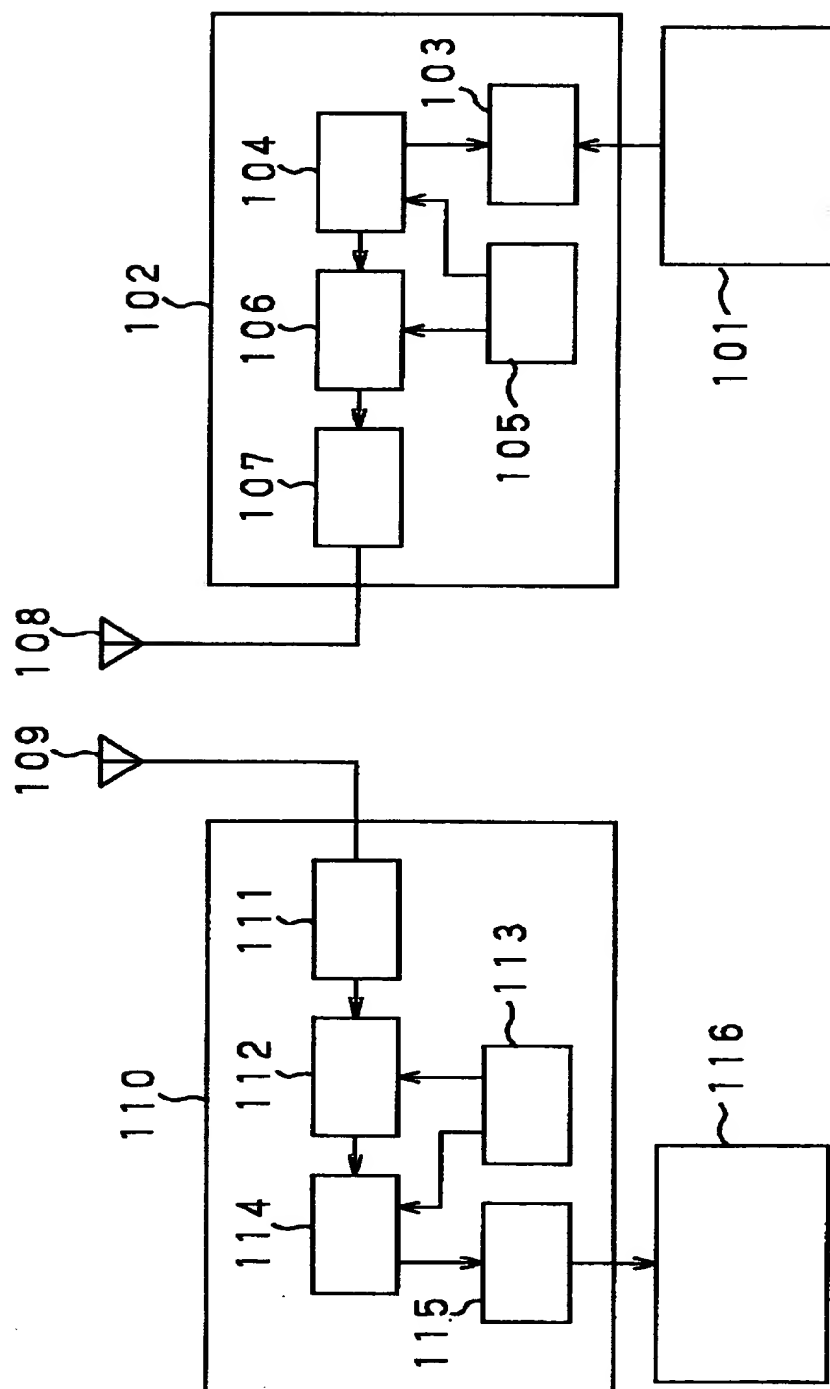
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 妨害電波等による情報信号の乱れを防止する。

【解決手段】 送信部 1 と受信部 2 とを所定の位置で接続させ、自動的にセンサ 6, 9 により接離を検出し、直ちにアンテナスイッチ 5, 10 を切り替え、送信アンテナ 7 及び受信アンテナ 11 を用いた無線伝送から出力端子 8 及び入力端子 12 を介した有線伝送に切り替える。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号  
氏 名 ソニー株式会社